

令和5年度第1回北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会

日 時 令和5年11月29日（水）

午後3時～4時30分

場 所 北栄町役場大栄庁舎

3階 第1委員会室

日 程

1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

（1）第8期計画に係る介護保険事業等の実施状況について〔資料1〕

（2）第9期計画の検討状況について

・家族介護用品支給事業について〔資料2〕

・在宅介護実態調査〔資料3-1〕、介護保険日常生活ニーズ調査について〔資料3-2〕

・介護保険料について〔資料4〕

4 今後のスケジュール

1月中・下旬 第2回策定員会開催（計画案、介護保険料設定について）

1月下旬～ パブリックコメント

2月中旬 議会全員協議会で説明

3月定例議会に提案

5 閉 会

北栄町介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定委員会委員名簿

区 分	氏 名	役 職 等	備 考
民生児童委員代表	西村 文伸	民生児童委員協議会委員	R5. 1. 12～
社会福祉協議会理事代表	大西 孝弘	社会福祉協議会会長	
各種団体代表	田村 禎之	老人クラブ連合会副会長	R4. 5. 25～
各種団体代表	杉上 潤子	女性団体連絡協議会	
介護者代表	立石 初子	介護者	
医師	宮川 秀人	宮川医院院長	R4. 3. 15～
指定介護サービス従事者	岩床 淳弘	居宅介護支援センター ル・サンテリオン北条 係長	
指定介護サービス従事者	谷口 いづみ	社会福祉協議会介護支援課長	
指定介護サービス従事者	吉田 貴志	医療法人誠医会老人保健施設セラトピア 事務長	
県福祉保健関係職員	野間 禎治	中部総合事務所県民福祉局共生社会推進課 施設指導担当係長	R5. 10. 20～
その他町長が必要と認める者	柿本 富美子	一般公募者	
その他町長が必要と認める者	日置 勝彦	一般公募者	
その他町長が必要と認める者	桑田 紀代	一般公募者	

任 期 令和４年２月５日 から
 令和７年２月４日 まで

= 介護保険事業の実施状況 =

1 介護給付費の推移

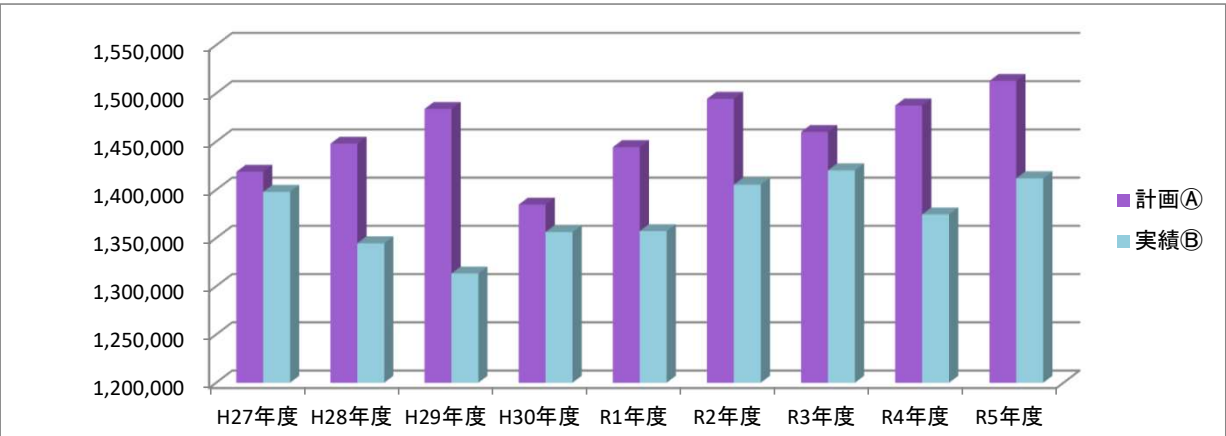
(1) 要介護、要支援別

①介護給付費（要介護1～5）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	1,418,623	1,447,820	1,483,840	1,384,720	1,444,252	1,494,273	1,459,979	1,487,436	1,512,907
実績⑤	1,397,862	1,344,576	1,313,264	1,356,208	1,357,180	1,405,314	1,420,224	1,374,505	1,411,961
比較⑥－④	△ 20,761	△ 103,244	△ 170,576	△ 28,512	△ 87,072	△ 88,959	△ 39,755	△ 112,931	△ 100,946

※令和5年度実績は見込み値

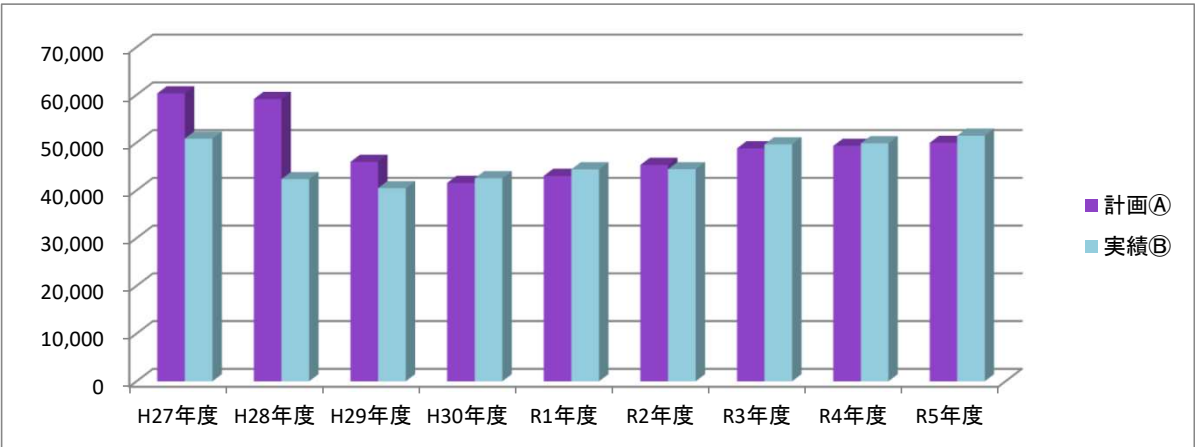


②介護予防給付費（要支援1，2）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	60,316	59,137	45,976	41,560	43,044	45,341	48,809	49,331	49,968
実績⑤	50,844	42,355	40,456	42,530	44,412	44,427	49,647	49,854	51,467
比較⑥－④	△ 9,472	△ 16,782	△ 5,520	970	1,368	△ 914	838	523	1,499

※令和5年度実績は見込み値



平成28年度より介護予防・日常生活支援総合事業に移行したため、介護予防通所介護、介護予防訪問介護が段階的に移行。

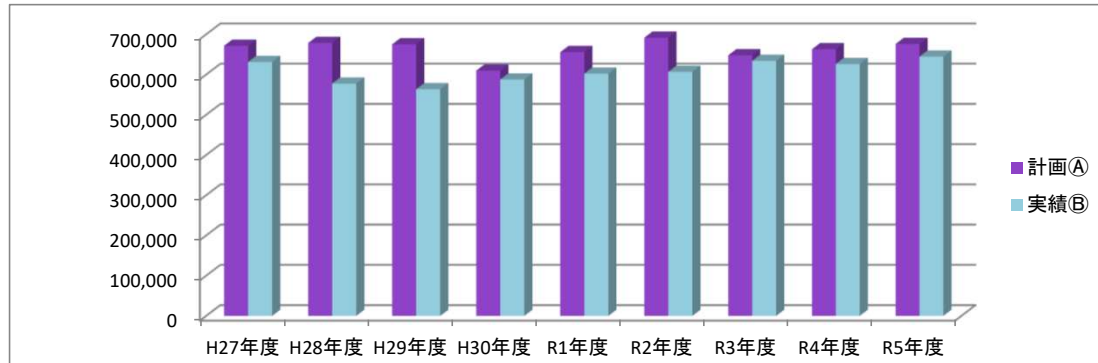
(2) 各サービス別

① 居宅サービス（介護給付・介護予防給付）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	671,755	678,601	675,464	610,033	655,922	691,869	648,223	663,109	676,061
実績⑤	631,435	577,739	563,733	587,796	602,513	607,061	634,329	626,432	644,580
比較⑥-④	△ 40,320	△ 100,862	△ 111,731	△ 22,237	△ 53,409	△ 84,808	△ 13,894	△ 36,677	△ 31,481

※令和5年度実績は見込み値

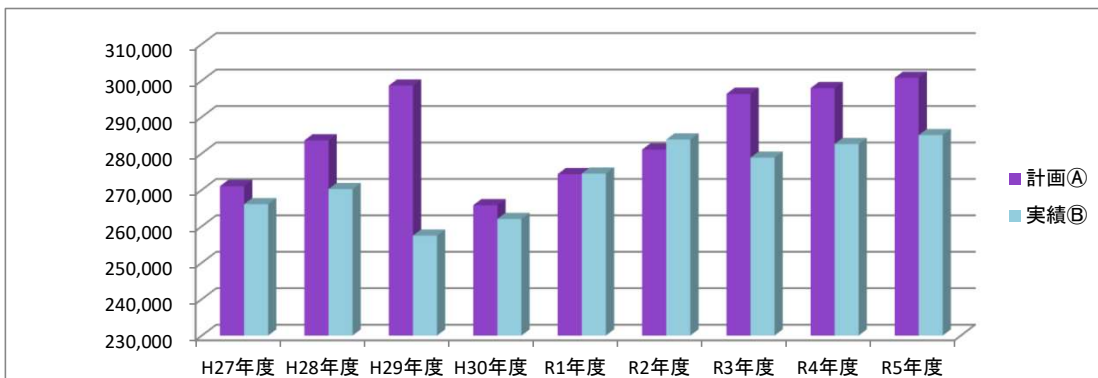


② 地域密着型サービス（介護給付費・介護予防給付）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	271,006	283,564	298,597	265,775	274,307	281,036	296,324	297,895	300,726
実績⑤	266,054	270,191	257,420	261,988	274,453	283,805	278,817	282,560	284,990
比較⑥-④	△ 4,952	△ 13,373	△ 41,177	△ 3,787	146	2,769	△ 17,507	△ 15,335	△ 15,736

※令和5年度実績は見込み値

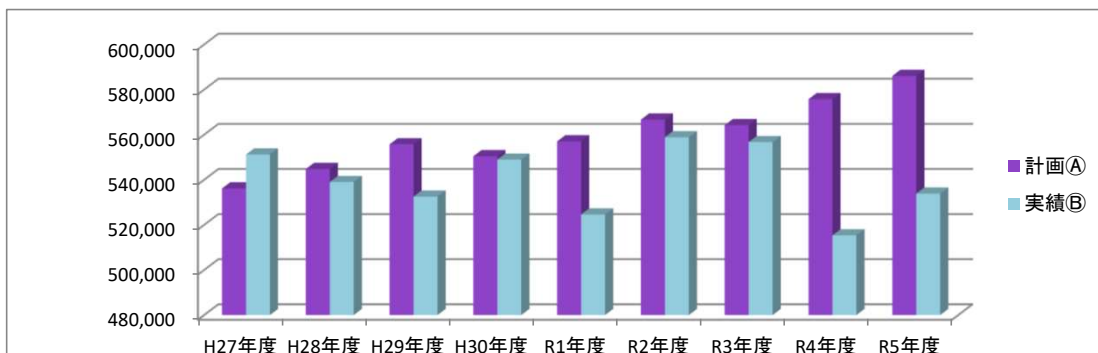


③ 施設サービス（介護給付費）

(単位：千円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	536,178	544,792	555,755	550,472	557,067	566,709	564,241	575,763	586,088
実績⑤	551,219	539,001	532,567	548,954	524,626	558,875	556,725	515,368	533,859
比較⑥-④	15,041	△ 5,791	△ 23,188	△ 1,518	△ 32,441	△ 7,834	△ 7,516	△ 60,395	△ 52,229

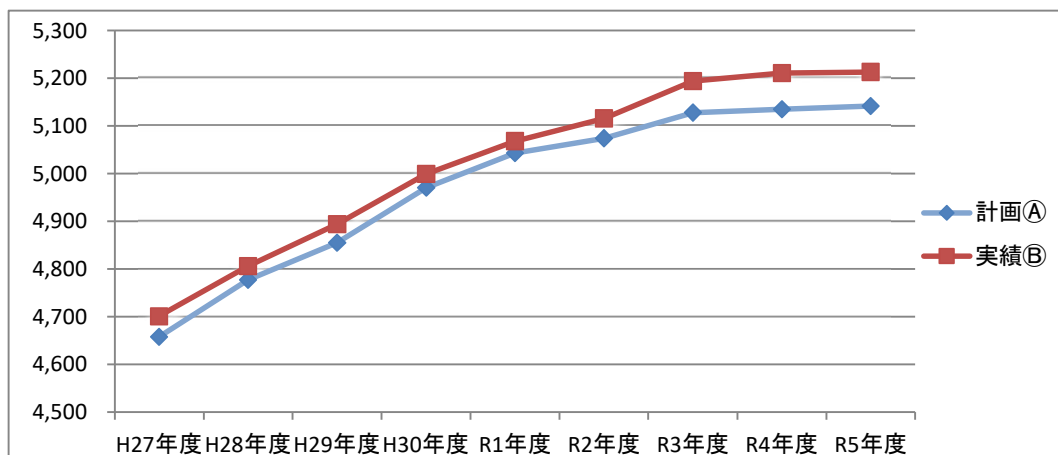
※令和5年度実績は見込み値



2 高齢者（65歳以上人口）の推移（各年度9月末現在）

（単位：人）

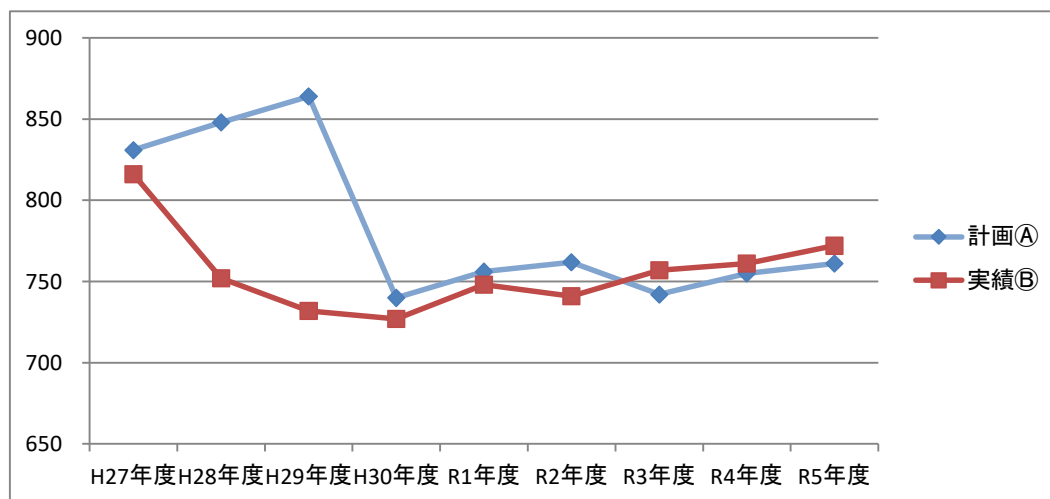
	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	4,658	4,777	4,855	4,970	5,043	5,074	5,128	5,135	5,142
実績④	4,701	4,806	4,894	4,999	5,068	5,116	5,194	5,211	5,213
比較④－④	43	29	39	29	25	42	66	76	71



3 要支援・要介護認定者の推移（各年度9月末現在）

（単位：人）

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
計画④	831	848	864	740	756	762	742	755	761
実績④	816	752	732	727	748	741	757	761	772
比較④－④	△ 15	△ 96	△ 132	△ 13	△ 8	△ 21	15	6	11



4 介護給付費準備基金積立金の推移

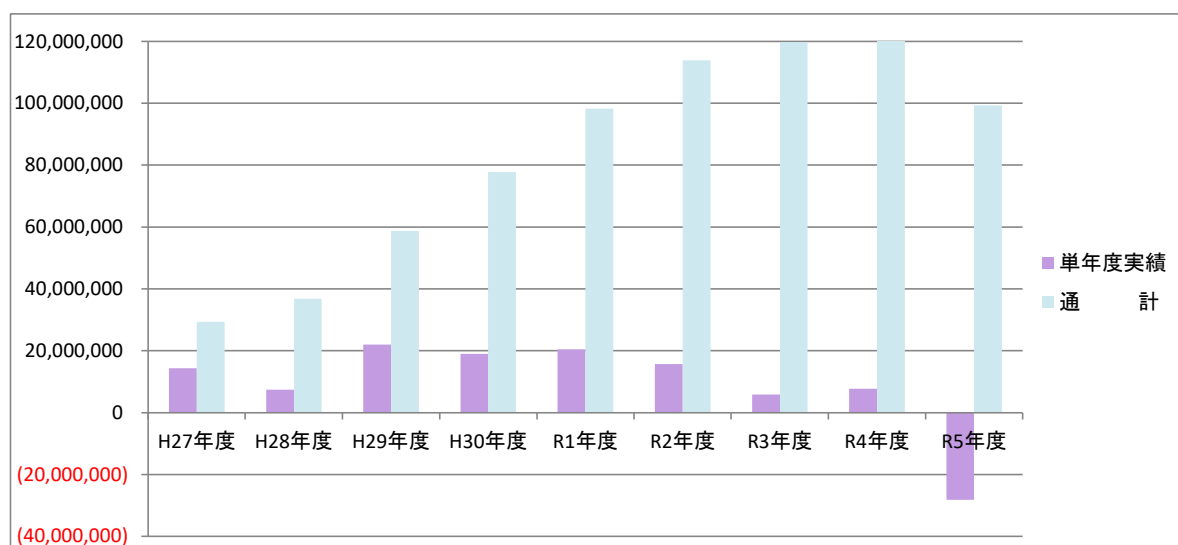
介護給付費準備基金は、介護保険事業特別会計において発生した余剰金を積み立て、第1号保険料の財源不足時に取り崩して充当するために設置される基金です。事業運営期間の最終年度において残高がある場合には、次期保険料を見込むにあたり、最低必要と認められる額を除き取り崩すことが基本的な考えであるとされています。

第8期介護保険料額設定については、保険給付費の増加が見込まれたものの、支払に不足額が生じた場合には、第7期末までの基金積立金を活用することとし第7期保険料と同額に据え置きました。

(単位：円)

	第6期			第7期			第8期		
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
単年度実績	14,320,663	7,453,000	22,008,000	19,018,000	20,419,000	15,675,000	5,875,277	7,665,408	△ 28,150,000
通 計	29,320,663	36,773,663	58,781,663	77,799,663	98,218,663	113,893,663	119,768,940	127,434,348	99,284,348

※令和5年度実績は見込み値



〔説明〕

基金運用の実績（見込み）としては、第8期計画策定当初は、計画期間中（R3～R5）に61,800千円の基金取り崩しを見込んでいましたが、令和3年度及び令和4年度決算では、介護給付費の伸びが計画値を下回る実績であったため、取り崩しを必要とせず、基金への積み立てができました。なお、令和5年度予算では、約28,150千円の取り崩しが必要となる予算編成となっています。

5 地域支援事業の取組実績と見込み

(単位：人、回)

区分			単位	第7期			第8期					
				平成30年度 (実績)	令和元年度 (実績)	令和2年度 (実績)	令和3年度 (計画値見込)	令和3年度 (実績)	令和4年度 (計画値見込)	令和4年度 (実績)	令和5年度 (計画値見込)	令和5年度 (実績見込)
介護予防・日常生活支援サービス事業	介護予防訪問介護相当サービス	延人数	307	247	209	220	221	220	269	220	264	
	介護予防通所介護相当サービス	延人数	884	952	835	840	877	840	845	840	862	
	筋力アップ教室北条 ※ (通所型サービスA)	回数		48	集:31 モ:13	48	集:30 モ:18	48	集:12 モ:36	48	集:44 モ:4	
		延人数		397	集:235 モ:113	480	集:281 モ:198	520	集:61 モ:263	520	集:374 モ:36	
	筋力アップ教室大栄 ※ (通所型サービスA)	回数							集:40 モ:8		集:48 モ:0	
		延人数							集:323 モ:58		集:365 モ:0	
	リフレッシュ教室 ※ (通所型サービスA)	回数	48	48	集:40 モ:8	48	集:31 モ:17	48	集:24 モ:24	48	集:46 モ:2	
		延人数	356	298	集:201 モ:53	300	集:166 モ:96	320	集:121 モ:121	340	集:358 モ:19	
	はつらつ！お達者教室 ※ (通所型サービスA)	回数	96	48	集:48 モ:0	48	集:40 モ:8	48	集:39 モ:9	48	集:48 モ:0	
		延人数	761	435	集:390 モ:0	400	集:397 モ:79	420	集:318 モ:71	440	集:337 モ:0	
	食べて！うたって！笑わー 会！(通所型サービスA)	回数	48	48	48	48	47	48	48	48	48	
		延人数	579	325	315	330	355	350	278	350	204	
	パワーリハビリ教室 ※ (短期集中予防サービス) (R4.10月末で休止)	回数	48	48	集:34 モ:14	48	集:30 モ:18	48	集:7 モ:22	48		
		延人数	320	286	集:241 モ:120	400	集:176 モ:138	420	集:47 モ:162	420		
	認知症サポーター養成講座	回数	10	9	5	8	4	8	9	10	4	
		延人数	271	264	194	200	227	200	609	250	197	
	介護予防運動サポーター養成講座	回数	2	0	0	2	1	2	1	2	1	
		延人数	30	0	0	30	14	30	14	30	20	
	お口の機能向上事業	回数	6	3	3	3	3	3	3	3	3	
		延人数	33	51	37	45	41	45	29	45	57	
	リハビリテーション専門職 派遣事業	回数	15	9	13	20	15	20	個別:22 体操:6	20	個別:10 地域:22	
		延人数	15	9	38	20	15	20	個別:16 体操:6	20	個別:10 地域:22	
	シニアファイト教室 ※ (運動器機能向上教室)	回数	141	46	集:46 モ:2	48	集:37 モ:9	48	集:39 モ:9	48	集:48 モ:0	
		延人数	845	269	集:342 モ:14	400	集:182 モ:45	410	集:150 モ:52	410	集:298 モ:0	
	転倒予防教室 ※ (運動器機能向上教室)	回数	24	24	集:18 モ:6	24	集:15 モ:9	24	集:7 モ:17	24	集:22 モ:2	
		延人数	401	417	集:231 モ:92	400	集:230 モ:174	420	集:59 モ:184	440	集:174 モ:14	
	生きがいデイサービス (閉じこもり予防教室)	回数	154	102	103	105	103	104	103	104	104	
		延人数	1,066	970	916	900	962	900	923	900	862	
	脳活クラブ ※ (認知症予防教室)	回数		24	集:46 モ:2	48	集:43 モ:5	48	集:39 モ:9	48	集:47 モ:0	
		延人数		219	集:390 モ:18	480	集:331 モ:45	490	集:280 モ:64	500	集:266 モ:0	
	こけないからだ講座	地区数	1	2	1	1	1	1	0	1	0	
	高齢者サークル活動支援事業	サークル数	16	20	21	22	26	23	26	24	23	
包括的支援事業・任意事業	包括的支援事業	地域ネットワーク会議	回数	7	6	2	4	3	4	10	4	7
			延人数	268	264	55	180	103	180	386	180	350
		生活支援サポーター養成講座	回数	1	1	1	1	1	1	1	1	1
			人数	6	7	11	10	7	10	8	10	8
		地域ケア会議	回数	23	20	14	24	16	24	16	24	21
			延人数	71	61	39	96	50	96	36	96	66
	任意事業	在宅介護者慰労事業	回数	2	2	1	2	2	2	2	2	2
			延人数	44	40	15	45	30	47	36	50	27
		家族介護用品支給事業	延人数	7	10	15	15	18	17	11	19	10
		認知症の人と家族のつどい	回数	12	11	11	12	9	12	12	12	12
			延人数	53	39	22	24	20	24	47	24	63
		成年後見制度利用支援事業	件数	0	1	2	2	0	2	2	2	2

※集：集合開催の実施回数、延人数、モ：個別モニタリング開催の実施回数、延人数

第 4 章 施策の展開 【素案】

1. 第 8 期計画の振り返りと課題

●地域包括ケアシステムの構築のための重点取組事項

(1) 介護予防施策の充実・推進

【主な事業】

- ・ 一般介護予防事業
- ・ 介護予防・生活支援サービス事業

【現状と成果】

- コロナ禍における介護予防・認知症予防事業として、いきいきサロンやこけないからだ体操等集いの場に出かけ、フレイル予防・認知症予防について啓発をしました。あわせて、社会福祉協議会生活支援コーディネーターも同行し、地域での見守り・支え愛の働きかけを行いました。
- 町内事業所のリハビリ専門職の協力を得て、「北栄さわやか体操第 2 弾」を制作し、ケーブルテレビの定期放映や DVD 配布を行い、自宅やいきいきサロンでの介護予防・認知症予防の取組みが充実するよう働きかけを行いました。
- コロナ禍のため介護予防教室のパワリハ教室が休止となり、令和 4 年度から筋力アップ教室大栄を増設しました。また、感染対策によって集合開催できない教室の利用者に対し、担当者から電話し、閉じこもりがちな生活に対しアドバイスを行い、自宅でもできる介護予防を推進しました。
- シニアファイト教室の対象者像や各教室の定員の見直しなどを行うことで、介護予防教室の評価と適切な運営を図りました。
- 介護予防教室の担当専門職と包括支援センターとの意見交換会を開催し、事業内容の評価を行い、リハビリ職がいきいきサロンなどの地域の集いの場に出向き、介護予防の助言等を行う専門職派遣事業を令和 5 年度から開始したことにより、地域の集いの場へ介護予防の内容を追加することができました。
- 令和 5 年度から「介護予防フェスタ」を開催し、こけないからだ体操の継続実施自治会表彰など行うことで、こけないからだ体操世話人のモチベーションをアップし、地域介護予防活動の更なる充実につなげました。
- コロナ禍を経過し、重要性が再認識された社会参加について啓発するため、町報で高齢者の集いの場紹介コーナーを始めました。既存の集いの場の活性化や新たな参加者増につなげていきます。

【課題】

- 高齢者数の増加により、介護予防の重要性は益々高まります。今後は、保健と介護の一体化事業との連携や図書館、中央公民館などで行われている様々な集いの場との情報共有により、介護予防の受け皿づくりを進めて行くことが必要です。

- 人生 100 年時代において、健康でできるだけ自立した生活を長く続けることが重要です。健康寿命の延伸のため、元気なうちから介護予防に取り組むことが必要であるという認識を啓発する必要があります。
- こけないからだ体操をより効果的に継続するために、専門職派遣を活用し、専門的なアドバイスを加えながら活性化を図ります。

(2) 在宅医療・介護連携の推進

【主な事業】

- ・在宅医療・介護連携推進事業

【現状と成果】

- 中部圏域 1 市 4 町、中部医師会、倉吉保健所で「在宅医療・介護連携推進事業における担当者会」を 2 ヶ月に 1 回程度開催、担当者会を中心に、協働しながら事業を推進しています。
- 「中部圏域地域づくりしよいやの会」は、感染症予防のためオンライン開催しました。オンライン上ではあるもののグループで意見交換することで、画面を通した顔の見える関係づくりと医療と介護の連携の機会となっています。
- コロナ禍により各病院、各介護事業所の感染予防対策が講じられたことにより、連携方法を見直すことが必要となったため、令和 3 年度、中部圏域の病院・居宅介護支援事業所等を対象とした「コロナ禍における入退院支援アンケート」を実施しました。各機関の入退院支援（カンファレンス開催方法等）の調整方法を把握し、地域づくりしよいやの会やホームページにて周知することで、コロナ禍でも可能な入退院支援の推進を図りました。
- 令和 4 年度から、コロナ禍で休止していた「医療・介護連携の推進に係るアンケート調査」（入退院のケースについて、介護支援専門員より病院へ、病院より介護支援専門員へ連絡調整した割合を調査）を実施、コロナ禍前の連携率（入院時連携率 83.9%、退院時連携率 89.5%）にまで回復したことが確認できました。
- 令和 5 年度には、地域の医療・介護サービス資源マップ事業「しよいや！しよいや！在宅医療介護連携情報サイト」ホームページの改修工事、及び社会資源情報の一斉更新を実施し、広く町民や関係者へ情報提供、連携支援を行いました。
- 平成 29 年度から運用開始した「中部圏域入退院調整手順」については、職能団体から意見を集約し随時更新しています。
- 本町単独の取組みとして、令和 4 年度、終活連続講座（3 回シリーズ）を開催。延 52 名の参加があり、法事・遺言書について学びや中部圏域版エンディングノート「私の未来ノート」の普及啓発を行いました。

【課題】

- コロナ禍を経過し、連携の重要性が再認識されました。医療機関と介護事業所が、4 つの場面（①日常の療養支援、②入退院支援、③急変時の対応、④看取り）で連携を図ることができるよう、課題を分析し、目標や対応策を

検討していく必要があります。

- 医療機関と介護事業所、各専門職間の相互理解や情報共有などの連携や質の向上を図るための研修会や意見交換会は継続して開催していく必要があります。
- 医療機関受診の割合が高い後期高齢者の増加に伴い、医療機関との連携の重要性がさらに高まります。令和6年度改定される中部保健医療圏地域保健医療計画と整合性を図り、病院、かかりつけ医、職能団体等と連携を図ります。
- 地域住民が在宅医療や介護について理解し、必要なサービスを適切に選択できるよう、また、人生の最終段階におけるケアの在り方や在宅での看取りについて理解できるように啓発することが必要です。

(3) 認知症施策の推進

【主な事業】

- ・ 認知症地域支援・ケア向上事業
- ・ 認知症初期集中支援推進事業
- ・ 認知症サポーター等養成事業
- ・ 家族介護支援事業
- ・ 介護予防把握事業

【現状と成果】

- 認知症地域支援推進員が、介護サービス事業者や町民等からの認知症に関する相談に応じるとともに、必要なサービス利用までの支援を行うなど、認知症施策を推進しました。
- 認知症地域支援推進員が中心となり、包括支援センターの専門職も関わることで、初期集中支援チームを機能させ、初期の家族支援等包括的にサポートし、必要な医療や介護サービスの利用の支援を行い、自立支援を図っています。
- 町健康診断（集団健診）の場で、タッチパネル操作による物忘れ相談プログラム（スクリーニング検査）を実施し、脳の健康チェックを行うことで認知症予防についての啓発を行っています。また認知症の疑いのある人に対しては、個別に介護予防教室の案内や専門医受診等の相談支援を行いました。
- NPO法人まちづくりネット主催のオレンジカフェ「なう」が、認知症の人とその家族、地域住民、専門職等、誰もが気軽に集える認知症カフェとして、町内地域密着型サービス事業所の協力を得ながら運営されています。令和4年度から参加者のニーズに応え、送迎を開始し、令和5年度には、北条地区での開催も始めました。参加者も年々増加し、認知症の人や地域住民の居場所として定着してきています。
- 認知症の人と家族の集いは、認知症地域支援推進員を中心に、介護者同士のピアカウンセリング的な場として、開催場所を北栄なうに変え、さらに日曜日開催を設けるなど、介護者の精神的な負担軽減の機会となっています。
- 認知症の人を見守り、支える地域づくりを推進するため、登録機関連絡会議を開催し、登録機関、行政、警察で構築する「ほくえい見守り安心ネット」の強化に取り組みました。また、「認知症高齢者等ご近所応援団（協力機関）」登録機関の行方不明者模擬メール訓練を実施することで、事案発生時の連携

体制の構築を図りました。

- 令和5年度から、行方不明者の早期発見に繋げることを目的に、「ほくえい見守り安心ネット」事前登録者に、見守り機能を有する衣類などに貼り付けるQRシールを配布する外出行動対策事業を開始しました。
- 認知症等により判断能力が低下した方の権利擁護を行う成年後見制度について、その利用を促進するため、令和4年3月に、北栄町成年後見制度利用促進基本計画を策定し、北栄町地域福祉推進計画の中に位置づけました。
- 町内地域密着型サービス事業所で結成している認知症ケア向上連絡会は、コロナ感染予防のため、令和3・4年度は中止しましたが、令和5年度に運動会、研修会を再開し、事業所間交流や認知症ケアの質の向上を推進しました。
- 認知症ケア向上連絡会は、令和4年度、9月アルツハイマー月間に、ギャラリーゆら里にて、高齢の人が制作された様々な作品の特設展示イベントを実施し、認知症の啓発活動を行いました。12月には、高齢者の人権をテーマに開催された北栄町じんけんフェスティバル2022にて、活動事例報告や町内の高齢者が共同で制作した手形による絵文字作品の展示を行いました。
- 認知症の人やその家族が安心して生活するためには、地域の人にも認知症について正しく理解をしていただくことが重要です。認知症サポーター養成講座の実施により、認知症の人を優しく見守るサポーターを3年間で1,033人養成しました。令和4年度には、生涯学習課と連携し、北栄町じんけんフェスティバル2022にて認知症をテーマにした講演会を行い、158人の参加がありました。また、令和5年度には、認知症啓発のシンボルカラーのオレンジ色の花を咲かせるオレンジガーデニングプロジェクトに取り組み、介護事業所の他、こども園や小中学校でも認知症の啓発を行いました。

【課題】

- 認知症の人やその家族が安心して生活するためには、ともに暮らす地域の人に認知症について正しく理解をしていただくことが重要です。搜索模擬訓練など、認知症に関する啓発活動を継続し、より効果的に推進していくことが必要です。
- 認知症は早期診断・早期対応が重要です。本人や家族が早期に、安心して相談できるよう、身近に相談できる体制を整えたり、相談窓口を周知したりすることが大切です。関係機関と連携し、スクリーニングを実施することで、認知症への早期対応を行い、状態に応じた適切な医療や介護サービスに円滑につなげていく必要があります。

(4) 生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進

【主な事業】

- ・生活支援体制整備事業

【現状と成果】

- 平成28年度に第1層生活支援コーディネーターを設置、その後、平成30年度からは第2層の体制整備を進め、生活支援体制の充実を図ってきました。

第2層は小学校区単位で設定し、現在2名の生活支援コーディネーターが活動しています。

- コロナ禍により、いきいきサロン等が休止されるなど地域のコミュニケーションの場が減ったことで、認知症やフレイルが進んでしまうことが懸念され、改めて人や地域のつながりの重要性が再認識されました。そこで、生活支援コーディネーターと包括支援センターで協働し、各自治会に出向き、地域のつながりや見守りについて啓発活動を行いました。
- 生活支援コーディネーターは、自治会単位で実施されている「支え愛連絡会」などへ参加し、地域における助け合い活動の推進を行っています。また、地域ネットワーク会議や地域ケア会議を通じて住民の生活支援ニーズを把握し、地域課題検討会で地域課題の洗い出し、解決策を検討しています。
- 把握した生活支援ニーズに対しては、必要に応じて「あったか♡まごころサービス」などの住民による生活支援サービスの紹介、マッチングを行っています。また、生活支援サービスの充実に向けて、毎年、担い手の養成や養成講座修了者のフォローアップに取り組んでいます。令和4年度には、居宅介護支援事業所やヘルパー事業所にヒアリングを行い、必要とされるサービスについて検討し、「あったか♡まごころサービス」の支援内容の見直しを行いました。
- 令和5年度には地域課題検討会より抽出された、男性の居場所づくりという地域課題に対し、男性の役割支援の場を提供することを目的とし、高齢男性がボランティア指導者として参加する「夏休みこども工作教室」を開催しました。子どもや保護者にも大変好評で、継続開催を希望する声が出ています。
- 「支え愛連絡会」は、コロナ禍の影響により開催回数も少ない状況でしたが、令和5年度は、9月のAコープ下北条店閉店に伴い、下北条地区を重点地区と定め、自治会長会等にて積極的にアプローチを行った結果、開催自治会が増えています。また、重層的支援体制整備事業で実施している世帯訪問事業も下北条地区を中心に実施し、買い物課題を抱える世帯が抽出されてきました。その世帯に訪問活動を行った結果、移動販売のニーズが明らかとなり、現在は、下北条地区の買い物支援として、東伯けんこう（就労支援B型）と協力し、移動販売の導入を進めています。
- 第1層協議体「ほくえい支え愛協議体」では、町全域の助け合い活動をすすめる取り組みやボランティア活動について協議しました。
- 第2層協議体「よっしゃやらあ会」では、各地区とも毎月1回の定例会を設け、生活支援コーディネーターとともに、生活課題の把握を行ったり、誰もが気軽に参加できる集いの場（「にじいろカフェ」（大栄地区）、「ほっこりひろば」（北条地区））の運営をしていましたが、「ほっこりひろば」は令和4年度途中で休止しています。また、自治会のいきいきサロンの開催支援を行っています。
- 「北栄町地域福祉推進フォーラム2021」、「2022ほくえい健康フェスタ・福祉まつり」、「介護予防フェスタ2023・福祉まつり」、と参加者の多いイベントを活用するなど地域福祉活動の啓発を行いました。特に「介護予防フェスタ2023・福祉まつり」では、「よっしゃやらあ会」の実践発表を行った

ほか、よっしゃやらあ会のメンバーで喫茶コーナー、フリーマーケットを運営しました。

- 令和5年度、「地域の福祉を考える会」を開催し、大栄地区と北条地区それぞれの「自らSOSを出すことが難しい」「活動する人数に限られる、仲間を増やしたい」という地域課題について検討を行いました。また、介護予防フェスタや地域の福祉を考える会のアンケートにて、地域福祉活動に参加したいと希望された人を「よっしゃやらあ会」の新たなメンバーとして迎え、活動の活性化を図っています。
- 福祉推進員、民生児童委員、愛の輪協力員合同研修会を開催し、支えあい活動の推進を行っています。

【課題】

- 第2層協議体が目指す姿は、地域の福祉を考える人を増やしていくこと、その先に町内に居場所が増えていくことです。今後はさらに、地域で活動する人を増やし、誰もが参加できる居場所づくりや「支え手」「受け手」という関係を超えた助け合いの活動を各地に広げていくことが必要です。
- 人口減少は避けられない問題であり、訪問介護サービス事業所の人員不足が予想されます。「あったか♡まごころサービス」は、ボランティアによる運営のため支援内容に限界があり、生活支援サービスの担い手不足は進行します。「あったか♡まごころサービス」の支援方法や内容の見直しとあわせ、地域住民や地域の多様な主体が参画した生活支援サービスの検討を進めていく必要があります。また、それに対応するため、生活支援サービスの活動を広く周知するとともに、さらなる担い手の養成や活動者へのフォローアップなど活動しやすい環境を整備していく必要があります。

(5) 地域ケア会議の充実

【主な事業】

- ・ 地域ケア会議の実施
- ・ 地域課題検討会の実施

【現状と成果】

- 地域の高齢者等の多様なニーズに対し、効果的なサービスを総合的に調整し、自立支援を目指した会議を開催しています。
- 医療・介護等の多職種（歯科医師・薬剤師・リハビリテーション専門職・管理栄養士・生活支援コーディネーターなど）が協働して高齢者等の個別課題の解決を図るとともに、介護支援専門員やサービス事業所の自立支援に向けたケアマネジメントの実践力を高める取り組みを行っています。
- 令和3年度から動画映像を活用、令和4年度より薬剤師の参加、令和5年度から歯科医師の参加があり、より多職種の視点に基づいた支援方針を検討できるようになっています。
- コロナ感染対策によりサービス事業所や助言者の集合参加が難しくなり、令和4年1月からオンラインシステムを活用した開催方法を取り入れたことで、災害や感染症対策の状況下でも安心安全に地域ケア会議を開催できる体制が整いました。

- 令和5年度、自立支援型マネジメント北栄町版様式使用マニュアルを改訂し、アセスメント項目の見直しと通所事業所に対し体力測定の実施を推奨しました。体力測定による数値化が、利用者自身の自立への意欲向上につながっています。
- 地域ケア会議終了後、生活支援コーディネーター、福祉課介護保険室、包括支援センターで地域ケア会議に提出されたケースの地域課題について協議する地域課題検討会を開催し、地域課題の明確化に取り組んでいます。
- 地域課題検討会により抽出された、男性の社会参加の機会がない課題に対し、生活支援体制整備事業と連携し、夏休みこども工作教室を開催し、指導者ボランティアとして男性がいきいきと活動できる場ができました。

【課題】

- 地域ケア会議は、多種多様な専門職を助言者とする体制を構築してきたことで、高齢者の自立支援を理念とした質の高いケアマネジメントの実現に向けた検討会となっています。しかしながら、助言者に、ケアマネジメントの効果と成果をフィードバックできていない現状があります。より有益な助言や情報共有につなげていくために、フィードバックの体制構築に努めていくことが必要です。
- 地域ケア会議助言者が、地域へ出向くケアシステムができつつあります。各専門職、関係者が「いきいきと自分らしく暮らせる町」を理念とした北栄町版地域包括ケアシステムに参画し、地域と相互に連携しあいながら在宅生活を支える仕組みを構築することが必要です。
- 令和5年度から定期開催している地域課題検討会の充実を図り、個別支援につなげていくことが重要です。見えてきた地域課題については、具体的な課題解決策の立案を行ったり、必要な社会資源について、現況の再確認を行ったりしながら、資源の整備・充実に向けて協議を継続していくことが必要です。
- 介護支援専門員に対して、その地域課題について情報共有することで、新たな地域課題の抽出や社会資源の構築を図ります。

(6) 感染症対策や災害に係る体制整備

【主な事業】

- ・ 防護服等の配布
- ・ レクリエーション研修会
- ・ 要援護者台帳の整備

【現状と成果】

- 新型コロナウイルス感染症の影響が特に拡大した令和3年度より、介護事業所等に防災服やアルコール製剤等の配布を行い、事業活動の継続を支援しています。
- 令和4年度には鳥取看護大学の荒川満枝教授を講師とし、「安心で楽しい集いを運営するための感染対策」と題して感染症に気をつけながら集いの場を維持する秘訣について講演会を開催しました。
- 日々変わる世帯状況や施設等への入退所、要介護状態や障がい者等にかかる情報の時点更新を行うほか、民生委員の協力を得ながら独居状態となって

いる高齢者等の状況把握を行い、要援護者台帳の更新を随時行っています。

【課題】

- 今後もインフルエンザなど感染症も見込み、事業所や地域活動の感染症対策への支援および必要な情報提供を行うとともに、自然災害に対する備えとして事業所の対策に関する必要な支援の検討や地域の災害時の助けあいのしくみづくりの充実を図ります。

家族介護用品支給事業について

1 本町の事業実施状況

◎事業の目的

在宅要介護者を介護している家族等に対し、介護用品の一部または全部を支給することにより、経済的負担の軽減を図るとともに、地域において自立した在宅生活の継続、向上を図る。（北栄町介護予防事業・介護保険地域支援事業実施要綱）

*事業概要については、北栄町介護保険制度説明冊子『みんな笑顔で介護保険』P38 及び『高齢者のくらしのてびき』P22「家族介護用品支給事業」参照

(1) 要介護高齢者、支給対象者等要件

〔平成 18 年度～平成 27 年度〕

- ・要介護 4 又は 5 の者を在宅で介護している同一世帯の者（住民税非課税世帯）

〔平成 28 年度～令和 5 年度〕

- ・要介護 1～5 で主治医意見書等症状要件に該当する者を在宅で介護している同居又は準ずる者（住民税非課税世帯）

≪参考：中部地区市町（4 保険者）の状況（令和 5 年度）≫

4 保険者ともに、要介護 4 又は 5 の者を在宅で介護している同居又は準ずる者



（うち 1 保険者が、北栄町と同条件の主治医意見書等の要件付加）

(2) 支給実績

年度	介護度	利用者数		支給額		支給額上限
H30	要介護 1～3	4 人	計 7 人	115,089 円	計 326,189 円	【要介護 1～3】 年額 48,000 円 (月額 4,000 円 ×12 枚) 【要介護 4・5】 年額 75,000 円 (月額 6,250 円 ×12 枚)
	要介護 4・5	3 人		211,100 円		
R1	要介護 1～3	6 人	計 10 人	223,765 円	計 429,286 円	
	要介護 4・5	4 人		205,521 円		
R2	要介護 1～3	9 人	計 15 人	284,039 円	計 463,580 円	
	要介護 4・5	6 人		179,541 円		
R3	要介護 1～3	8 人	計 18 人	252,659 円	計 557,704 円	
	要介護 4・5	10 人		305,045 円		
R4	要介護 1～3	7 人	計 12 人	195,521 円	計 461,962 円	
	要介護 4・5	5 人		266,441 円		
R5	要介護 1～3	4 人	計 8 人	87,854 円	計 202,353 円	
	要介護 4・5	4 人		114,499 円		

（※R5 年度は 10 月利用分まで）

(3) 予算

介護保険特別会計 地域支援事業（任意事業）

【財源：地域支援事業交付金（国 38.5%, 県 19.25%）, 第 1 号保険料 23%, 町 19.25%】

2 家族介護用品支給事業の地域支援事業（国・県交付金財源）への位置づけの経緯（平成 17 年 10 月町合併後）

① 平成 18 年度～ 地域支援事業（任意事業）として事業開始

② 平成 27 年度～平成 29 年度（第 6 期介護保険事業計画期間）

「原則、平成 27 年度以降の地域支援事業（任意事業）の対象から外れたが、平成 26 年度時点で当該事業を実施していた場合に限り、当分の間実施して差し支えない取扱い」により実施継続

③ 平成 30 年度～令和 2 年度（第 7 期介護保険事業計画期間）

「平成 26 年度に、任意事業において介護用品の支給に係る事業を実施している市町村は、第 7 期介護保険事業計画期間においては、高齢者の個別の状態を踏まえて適切に支給していること、低所得世帯等への影響も考慮しつつ、任意事業としての介護用品の支給に係る事業の廃止・縮小に向けた具体的方策を検討していること等を実施の要件とする取扱い」により実施継続

④ 令和 3 年度～令和 5 年度（第 8 期介護保険事業計画期間）

「平成 26 年度に当該事業を実施している市町村であって、第 7 期介護保険事業計画期間中に当該事業を実施している市町村に限り対象」により実施継続
（※本人・世帯員の課税要件や新規利用者についての取扱いが示されたが、現行の対象者等要件範囲内であった。）

⑤ 令和 6 年度～令和 8 年度（第 9 期介護保険事業計画期間）

第 8 期介護保険事業計画期間中は、例外的激変緩和措置の取扱いで交付金対象であった。第 9 期介護保険事業計画期間以降の取扱いについては、地域支援事業（任意事業）としての取扱いを廃止・縮小する検討を進めること、との方向性は示されているものの確定方針は、現在のところまだ示されていない。

3 令和 6 年度以降の取り組み方針

事務局案としては、第 9 期介護保険事業計画期間から本事業が地域支援事業交付金対象から除外された場合においても、事業目的及び昨今の物価高騰を踏まえ、財源を一般財源で充当し（一般会計予算に計上）、事業を継続して実施する方向で考えている。

【財源：町 100%（地域支援事業では、町 19.25%であるので、80.75%の増となる）】

（例）事業費 500,000 円の場合…町負担 96,250 円→403,750 円となり 307,500 円増

在宅介護実態調査

【A票】

聞き取り相手(複数回答)

1. 調査対象者本人	111
2. 主な介護者となっている家族・親族	165
3. 主な介護者以外の家族・親族	6
4. 調査対象者のケアマネジャー	64
5. その他	2
未回答	0

348

問1 世帯類型

1. 単身世帯	52	17.28%
2. 夫婦のみの世帯	51	16.94%
3. その他	191	63.46%
未回答	7	2.33%

301

問2 介護の頻度

1. ない	28	9.30%
2. 週に1日よりも少ない	24	7.97%
3. 週に1～2日	22	7.31%
4. 週に3～4日	7	2.33%
5. ほぼ毎日	216	71.76%
未回答	4	1.33%

301

→問8へ

問3 主な介護者

1. 配偶者	62	22.71%
2. 子	137	50.18%
3. 子の配偶者	55	20.15%
4. 孫	4	1.47%
5. 兄弟・姉妹	3	1.10%
6. その他	12	4.40%
未回答	0	0.00%

273

問4 主な介護者の性別

1. 男性	78	28.57%
2. 女性	195	71.43%
未回答	0	0.00%

273

参考:男女比(問3と問4との重ね合わせ)

	男	女	男女比
1. 配偶者	16	46	8:23
2. 子	53	84	53:84
3. 子の配偶者	2	53	2:53
4. 孫	1	3	1:3
5. 兄弟・姉妹	2	1	2:1
6. その他	4	8	1:2
	78	195	2:5

問5 主な介護者の年齢

1. 20歳未満	0	0.00%
2. 20代	0	0.00%
3. 30代	4	1.47%
4. 40代	12	4.40%
5. 50代	51	18.68%
6. 60代	110	40.29%
7. 70代	59	21.61%
8. 80歳以上	35	12.82%
9. わからない	1	0.37%
未回答	1	0.37%

273

参考:男女比(問4と問5との重ね合わせ)

	男	女	男女比
3. 30代	2	2	1:1
4. 40代	3	9	1:3
5. 50代	11	40	11:40
6. 60代	32	78	16:39
7. 70代	19	40	19:40
8. 80歳以上	11	24	11:24
9. わからない	0	1	0:1
未回答	0	1	0:1
	78	195	2:5

問6 介護の内容(複数回答)

1. 日中の排泄	62
2. 夜間の排泄	66
3. 食事の介助(食べる時)	21
4. 入浴・洗身	32
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	53
6. 衣服の着脱	78
7. 屋内の移乗・移動	47
8. 外出の付き添い、送迎等	196
9. 服薬	148
10. 認知症状への対応	90
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ 等)	11
12. 食事の準備(調理等)	223
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物 等)	243
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	211
15. その他	8
16. わからない	1
未回答	1

1,491

問7 周囲の就業形態の変化(複数回答)

1. 主な介護者が仕事を辞めた(転職除く)	8
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた(転職除く)	1
3. 主な介護者が転職した	0
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した	0
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない	251
6. わからない	2
未回答	11

273

問8 現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービス(複数回答)

1. 配食	29
2. 調理	6
3. 掃除・洗濯	2
4. 買い物(宅配は含まない)	4
5. ゴミ出し	10
6. 外出同行(買い物など)	6
7. 通院同行	13
8. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	68
9. 見守り、声かけ	11
10. サロンなどの定期的な通いの場	16
11. 認知症の人と家族の集い	0
12. その他	18
13. 利用していない	172
未回答	6

361

問9 今後必要と感じる支援・サービス(複数回答)

1. 配食	33
2. 調理	19
3. 掃除・洗濯	19
4. 買い物(宅配は含まない)	21
5. ゴミ出し	17
6. 外出同行(買い物など)	22
7. 通院同行	36
8. 移送サービス(介護・福祉タクシー等)	48
9. 見守り、声かけ	44
10. サロンなどの定期的な通いの場	14
11. 認知症の人と家族の集い	5
12. その他	8
13. 特になし	156
未回答	10

452

問10 施設等への入所・入居の検討状況

1. 入所・入居は検討していない	234	77.74%
2. 入所・入居を検討している	32	10.63%
3. すでに入所・入居申し込みをしている	34	11.30%
未回答	1	0.33%

301

問12 訪問診療利用の有無

1. 利用している	24	7.97%
2. 利用していない	273	90.70%
未回答	4	1.33%

301

問11 本人が現在抱えている傷病(複数回答)

1. 脳血管疾患(脳卒中)	56
2. 心疾患(心臓病)	79
3. 悪性新生物(がん)	19
4. 呼吸器疾患	21
5. 腎疾患(透析)	9
6. 筋骨格系疾患(骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等)	59
7. 膠原病(関節リウマチ含む)	8
8. 変形性関節疾患	43
9. 認知症	128
10. パーキンソン病	12
11. 難病(パーキンソン病を除く)	6
12. 糖尿病	49
13. 眼科・耳鼻科疾患(視覚・聴覚障害を伴うもの)	29
14. その他	67
15. なし	2
16. わからない	1
未回答	7

問13 住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の

介護保険サービス利用の有無

1. 利用している	274	91.03%
2. 利用していない	24	7.97%
未回答	3	1.00%

301

問14 介護保険サービスを利用していない理由(複数回答)

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない	9
2. 本人にサービス利用の希望がない	11
3. 家族が介護をするため必要ない	4
4. 以前、利用していたサービスに不満があった	0
5. 利用料を支払うのが難しい	1
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない	0
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	3
8. サービスを受けたいが手続きや利用方法が分からない	0
9. その他	3
未回答	5

【B票】

問1 主な介護者の勤務形態

1. フルタイムで働いている	117	42.86%
2. パートタイムで働いている	52	19.05%
3. 働いていない	100	36.63%
4. 主な介護者に確認しないとわからない	1	0.37%
未回答	3	1.10%

273

問2 介護のための働き方調整等(複数回答)

1. 特に行っていない	77
2. 労働時間を調整(残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等)	44
3. 休暇(年休や介護休暇等)を取得	23
4. 在宅勤務を利用	5
5. 2～4以外の調整	2
6. 主な介護者に確認しないと、わからない	4
未回答	5

160

問3 勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思うか(3つまで回答)

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない	33
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実	30
3. 制度を利用しやすい職場づくり	18
4. 労働時間の柔軟な選択(フレックスタイム制など)	29
5. 働く場所の多様化(在宅勤務・テレワークなど)	2
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供	5
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置	2
8. 介護をしている従業員への経済的な支援	21
9. その他	1
10. 特にない	43
11. 主な介護者に確認しないと、わからない	26
未回答	10

問4 今後も働きながら介護を続けていけそうか

1. 問題なく、続けていける	43
2. 問題はあるが、何とか続けていける	94
3. 続けていくのは、やや難しい	5
4. 続けていくのは、かなり難しい	2
5. 主な介護者に確認しないとわからない	16
未回答	12

172

問5 主な介護者が不安に感じる介護等(3つまで回答)

1. 日中の排泄	54
2. 夜間の排泄	65
3. 食事の介助(食べる時)	14
4. 入浴・洗身	37
5. 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)	7
6. 衣服の着脱	11
7. 屋内の移乗・移動	42
8. 外出の付き添い、送迎等	41
9. 服薬	19
10. 認知症状への対応	93
11. 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)	9
12. 食事の準備(調理等)	29
13. その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)	20
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	14
15. その他	19
16. 不安に感じていることは、特になし	37
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	21
未回答	7

介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

性別	人数	割合
男性	1,255	44.21%
女性	1,577	55.55%
未回答	7	0.25%
計	2,839	100.0%

年齢構成	人数	割合
65～69歳	657	23.14%
70～74歳	796	28.04%
75～79歳	568	20.01%
80～84歳	381	13.42%
85～89歳	285	10.04%
90歳以上	120	4.23%
その他	32	1.13%
計	2,839	100.0%

調査票に記入をした者

本人	2,498	87.99%
ご家族	216	7.61%
その他	5	0.18%
不明	120	4.23%

2,839

【問1】

(1)家族構成

1人暮らし	399	14.05%
夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	890	31.35%
夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	94	3.31%
息子・娘との2世帯	886	31.21%
その他	516	18.18%
未回答	54	1.90%

2,839

(2)介護・介助が必要か

1. 介護・介助は必要ない	2,451	86.33%
2. 介護・介助は必要だが、受けていない	177	6.23%
3. 何らかの介護を受けている	138	4.86%
未回答	73	2.57%

2,839

→ (2-1)介護・介助が必要になった主な原因(複数回答)

1. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	23
2. 心臓病	18
3. がん(悪性新生物)	8
4. 呼吸器の病気(肺気腫・肺炎等)	5
5. 関節の病気(リウマチ等)	19
6. 認知症(アルツハイマー病等)	18
7. パーキンソン病	3
8. 糖尿病	14
9. 腎疾患(透析)	2
10. 視覚・聴覚障害	13
11. 骨折・転倒	33
12. 脊椎損傷	7
13. 高齢による衰弱	42
14. その他	17
15. 不明	3
未回答	73

→ (2-2)主な介護・介助者(複数回答)

1. 配偶者(夫・妻)	35
2. 息子	38
3. 娘	48
4. 子の配偶者	24
5. 孫	10
6. 兄弟・姉妹	3
7. 介護サービスのヘルパー	28
8. その他	25
未回答	74

(3)暮らしの状況

1. 大変苦しい	182	6.41%
2. やや苦しい	641	22.58%
3. ふつう	1,738	61.22%
4. ややゆとりがある	164	5.78%
5. 大変ゆとりがある	19	0.67%
未回答	95	3.35%

2,839

(4)住まい

1. 持家(一戸建て)	2,688	94.68%
2. 持家(集合住宅)	9	0.32%
3. 公営賃貸住宅	21	0.74%
4. 民間賃貸住宅(一戸建て)	8	0.28%
5. 民間賃貸住宅(集合住宅)	11	0.39%
6. 借家	18	0.63%
7. その他	20	0.70%
未回答	64	2.25%

2,839

【問2】

(1)階段を手すりや壁をつたわず昇れるか

1. できるし、している	1,626	57.27%
2. できるけどしていない	575	20.25%
3. できない	529	18.63%
未回答	109	3.84%

2,839

(2)椅子からつかまらずに立てるか

1. できるし、している	2,083	73.37%
2. できるけどしていない	315	11.10%
3. できない	362	12.75%
未回答	79	2.78%

2,839

(3)15分位続けて歩いているか

1. できるし、している	1,835	64.64%
2. できるけどしていない	630	22.19%
3. できない	299	10.53%
未回答	75	2.64%

2,839

(4)過去1年間に転んだか

1. 何度もある	303	10.67%
2. 1度ある	541	19.06%
3. ない	1,924	67.77%
未回答	71	2.50%

2,839

(5)転倒に対する不安

1. とても不安	362	12.75%
2. やや不安	960	33.81%
3. あまり不安でない	891	31.38%
4. 不安でない	548	19.30%
未回答	78	2.75%

2,839

(6)外出の頻度

1. ほとんど外出しない	141	4.97%
2. 週1回	322	11.34%
3. 週2～4回	1,021	35.96%
4. 週5回以上	1,302	45.86%
未回答	53	1.87%

2,839

(7)昨年と比べて外出回数が減っているか

1. とても減っている	87	3.06%
2. 減っている	509	17.93%
3. あまり減っていない	942	33.18%
4. 減っていない	1,255	44.21%
未回答	46	1.62%

2,839

→ (7-1)回数が減っている理由(複数回答)

1. 病気	93
2. 障がい(脳卒中の後遺症など)	16
3. 足腰などの痛み	305
4. トイレの心配(失禁など)	66
5. 耳の障がい(聞こえの問題など)	59
6. 目の障がい	40
7. 外での楽しみがない	120
8. 経済的に出られない	55
9. 交通手段がない	103
10. その他	112
未回答	65

(8)外出時の移動手段(複数回答)

1. 徒歩	923
2. 自転車	391
3. バイク	35
4. 自動車(自分で運転)	2,072
5. 自動車(人に乗せてもらう)	643
6. JR	104
7. 路線バス	144
8. 病院や施設のバス	50
9. 車いす	3
10. 電動いす(カート)	14
11. 歩行器・シルバーカー	78
12. タクシー	270
13. その他	14
未回答	72

【問3】

(1)身長・体重 ※省略

(2)半年前に比べて固いものが食べにくくなったか

1. はい	853	30.05%
2. いいえ	1,904	67.07%
未回答	82	2.89%

2,839

(3)お茶や汁物等でむせることがあるか

1. はい	662	23.32%
2. いいえ	2,094	73.76%
未回答	83	2.92%

2,839

(4)口の渇きが気になるか

1. はい	623	21.94%
2. いいえ	2,130	75.03%
未回答	86	3.03%

2,839

(5)歯磨きを毎日しているか

1. はい	2,553	89.93%
2. いいえ	209	7.36%
未回答	77	2.71%

2,839

(6)歯の数と入れ歯の利用状況

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用	299	10.53%
2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし	739	26.03%
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用	1,261	44.42%
4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし	345	12.15%
未回答	195	6.87%

2,839

→ (6-1)噛み合わせは良好か

1. はい	1,259	80.71%
2. いいえ	263	16.86%
未回答	38	2.44%

1,560

→ (6-2)毎日入れ歯の手入れをしているか

1. はい	1,365	87.50%
2. いいえ	85	5.45%
未回答	110	7.05%

1,560

(7)6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか

1. はい	317	11.17%
2. いいえ	2,386	84.04%
未回答	136	4.79%

2,839

(8)誰かと食事をとにもする機会はあるか

1. 毎日ある	1,767	62.24%
2. 週に何度かある	206	7.26%
3. 月に何度かある	250	8.81%
4. 年に何度かある	281	9.90%
5. ほとんどない	241	8.49%
未回答	94	3.31%

2,839

【問4】

(1)物忘れが多いと感じるか

1. はい	1,091	38.43%
2. いいえ	1,668	58.75%
未回答	80	2.82%

2,839

(2)自分で電話番号を調べて電話をかけるか

1. はい	2,493	87.81%
2. いいえ	284	10.00%
未回答	62	2.18%

2,839

(3)今日が何月何日かわからない時があるか

1. はい	637	22.44%
2. いいえ	2,091	73.65%
未回答	111	3.91%

2,839

(4)周りの人から物忘れがあるとと言われるか

1. はい	329	11.59%
2. いいえ	2,402	84.61%
未回答	108	3.80%

2,839

(5)バスやJRを使って1人で外出しているか(自家用車でも可)

1. できるし、している	2,092	73.69%
2. できるけどしていない	416	14.65%
3. できない	209	7.36%
未回答	122	4.30%

2,839

(6)自分で食品・日用品の買物をしているか

1. できるし、している	2,276	80.17%
2. できるけどしていない	348	12.26%
3. できない	121	4.26%
未回答	94	3.31%

2,839

(7)自分で食事の用意をしているか

1. できるし、している	1,904	67.07%
2. できるけどしていない	613	21.59%
3. できない	223	7.85%
未回答	99	3.49%

2,839

(8)自分で請求書の支払いをしているか

1. できるし、している	2,340	82.42%
2. できるけどしていない	306	10.78%
3. できない	92	3.24%
未回答	101	3.56%

2,839

(9)自分で預貯金の出し入れをしているか

1. できるし、している	2,322	81.79%
2. できるけどしていない	317	11.17%
3. できない	105	3.70%
未回答	95	3.35%

2,839

(10)健康についての記事や番組に関心があるか

1. はい	2,426	85.45%
2. いいえ	314	11.06%
未回答	99	3.49%

2,839

(11)友人の家を訪ねているか

1. はい	1,512	53.26%
2. いいえ	1,218	42.90%
未回答	109	3.84%

2,839

(12)家族や友人の相談にのっているか

1. はい	2,011	70.83%
2. いいえ	678	23.88%
未回答	150	5.28%

2,839

(13)趣味はあるか

1. 趣味があり現在もしている	1,844	64.95%
2. 趣味はある(あった)が、していない	650	22.90%
3. 思いつかない	236	8.31%
未回答	109	3.84%

2,839

→ (13-1)趣味は次のどれか(複数回答)

1. 旅行、観光	635	9.37%
2. アウトドア(登山、釣りなどを含む)	304	4.48%
3. 運動(ゴルフ、グラウンドゴルフを含む)	710	10.47%
4. ガーデニング(せん定を含む)、盆栽	830	12.24%
5. 家庭菜園、農業	1,188	17.52%
6. カラオケ	151	2.23%
7. 読書、音楽、映画鑑賞	841	12.40%
8. 脳トレ(クロスワードパズル、ナンプレ等)	669	9.87%
9. 料理、お菓子作り	434	6.40%
10. 手芸	472	6.96%
11. その他	422	6.22%
未回答	124	1.83%

6,780

(14)生きがいはあるか

1. 生きがいあり	1,316	46.35%
2. 思いつかない	873	30.75%
未回答	650	22.90%

2,839

【問5】

(1)以下の会・グループへの参加頻度

①ボランティアのグループ

1. 週4回以上	17	0.60%
2. 週2～3回	20	0.70%
3. 週1回	32	1.13%
4. 月1～3回	124	4.37%
5. 年に数回	283	9.97%
6. 参加していない	1,389	48.93%
未回答	974	34.31%

2,839

②スポーツ関係のグループやクラブ

1. 週4回以上	59	2.08%
2. 週2～3回	184	6.48%
3. 週1回	104	3.66%
4. 月1～3回	119	4.19%
5. 年に数回	118	4.16%
6. 参加していない	1,368	48.19%
未回答	887	31.24%

2,839

③趣味関係のグループ

1. 週4回以上	25	0.88%
2. 週2～3回	87	3.06%
3. 週1回	93	3.28%
4. 月1～3回	239	8.42%
5. 年に数回	160	5.64%
6. 参加していない	1,319	46.46%
未回答	916	32.26%

2,839

④学習・教養サークル

1. 週4回以上	5	0.18%
2. 週2～3回	11	0.39%
3. 週1回	22	0.77%
4. 月1～3回	69	2.43%
5. 年に数回	118	4.16%
6. 参加していない	1,524	53.68%
未回答	1,090	38.39%

2,839

⑤介護予防のための通いの場

1. 週4回以上	27	0.95%
2. 週2～3回	55	1.94%
3. 週1回	136	4.79%
4. 月1～3回	186	6.55%
5. 年に数回	142	5.00%
6. 参加していない	1,438	50.65%
未回答	855	30.12%

2,839

⑥老人クラブ

1. 週4回以上	7	0.25%
2. 週2～3回	7	0.25%
3. 週1回	7	0.25%
4. 月1～3回	71	2.50%
5. 年に数回	280	9.86%
6. 参加していない	1,519	53.50%
未回答	948	33.39%

2,839

⑦町内会・自治会

1. 週4回以上	12	0.42%
2. 週2～3回	13	0.46%
3. 週1回	16	0.56%
4. 月1～3回	161	5.67%
5. 年に数回	964	33.96%
6. 参加していない	777	27.37%
未回答	896	31.56%

2,839

⑧収入のある仕事

1. 週4回以上	432	15.22%
2. 週2～3回	133	4.68%
3. 週1回	35	1.23%
4. 月1～3回	80	2.82%
5. 年に数回	168	5.92%
6. 参加していない	1,110	39.10%
未回答	881	31.03%

2,839

(2)有志の活動に対する参加者としての参加意思

1. 是非参加したい	153	5.39%
2. 参加してもよい	1,167	41.11%
3. 参加したくない	945	33.29%
4. 既に参加している	203	7.15%
未回答	371	13.07%

2,839

(3)有志の活動に対する企画・運営としての参加意思

1. 是非参加したい	46	1.62%
2. 参加してもよい	651	22.93%
3. 参加したくない	1,540	54.24%
4. 既に参加している	182	6.41%
未回答	420	14.79%

2,839

【問6】

(1)心配事や愚痴を聞いてくれる人(複数回答)

1. 配偶者	1,506
2. 同居の子ども	700
3. 別居の子ども	951
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	974
5. 近隣	344
6. 友人	1,101
7. その他	56
8. そのような人はいない	115
未回答	153

5,900

(2)心配事や愚痴を聞いてあげる人(複数回答)

1. 配偶者	1,414
2. 同居の子ども	597
3. 別居の子ども	825
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	981
5. 近隣	462
6. 友人	1,127
7. その他	42
8. そのような人はいない	192
未回答	215

5,855

(3)看病や世話をしてくれる人(複数回答)

1. 配偶者	1,646
2. 同居の子ども	999
3. 別居の子ども	793
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	501
5. 近隣	60
6. 友人	131
7. その他	46
8. そのような人はいない	148
未回答	171

4,495

(4)看病や世話をしてあげる人(複数回答)

1. 配偶者	1,659
2. 同居の子ども	777
3. 別居の子ども	590
4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫	719
5. 近隣	100
6. 友人	164
7. その他	41
8. そのような人はいない	338
未回答	271

4,659

(5)家族や友人・知人以外で相談する相手(複数回答)

1. 自治会・町内会・老人クラブ	328
2. 社会福祉協議会・民生委員	493
3. ケアマネジャー	132
4. 医師・歯科医師・看護師	890
5. 地域包括支援センター・役場	484
6. その他	156
7. そのような人はいない	774
未回答	453

3,710

【問7】

(1)現在のあなたの健康状態

1. とてもよい	217	7.64%
2. まあよい	1,906	67.14%
3. あまりよくない	469	16.52%
4. よくない	74	2.61%
未回答	173	6.09%

2,839

(2)幸福度 平均: 6.55 点

0点(とても不幸)	12.0	0.42%
1点	15.0	0.53%
2点	15.0	0.53%
3点	50.5	1.78%
4点	73.5	2.59%
5点	508.0	17.89%
6点	240.0	8.45%
7点	419.0	14.76%
8点	600.5	21.15%
9点	267.5	9.42%
10点(とても幸せ)	398.0	14.02%
未回答	240.0	8.45%

2,839

※2個まとめて○や、数字と数字の間に○がある場合、
両者の人数を0.5人ずつとして計上した。

(3)この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったか

1. はい	823	28.99%
2. いいえ	1,818	64.04%
未回答	198	6.97%

2,839

(5)タバコは吸っているか(電子タバコを含む)

1. ほぼ毎日吸っている	202	7.12%
2. 時々吸っている	18	0.63%
3. 吸っていたがやめた	752	26.49%
4. もともと吸っていない	1,672	58.89%
未回答	195	6.87%

2,839

(6)現在治療中、または後遺症のある病気はあるか(複数回答)

1. ない	374
2. 高血圧	1,183
3. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	107
4. 心臓病	225
5. 糖尿病	405
6. 高脂血症(脂質異常)	381
7. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)	150
8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気	191
9. 腎臓・前立腺の病気	179
10. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)	367
11. 外傷(転倒・骨折等)	62
12. がん(悪性新生物)	132
13. 血液・免疫の病気	34
14. うつ病	37
15. 認知症(アルツハイマー病等)	24
16. パーキンソン病	12
17. 目の病気	479
18. 耳の病気	126
19. その他	259
未回答	259

(4)この1か月間、興味がわかない、心から楽しめない感じがあったか

1. はい	500	17.61%
2. いいえ	2,104	74.11%
未回答	235	8.28%

2,839

【問8】

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいるか

1. はい	273	9.62%
2. いいえ	2,366	83.34%
未回答	200	7.04%

2,839



→ (1-1) 認知症の症状があることを専門機関に相談しているか

1. はい	181	66.30%
2. いいえ	81	29.67%
未回答	11	4.03%

273

(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

1. はい	939	33.08%
2. いいえ	1,229	43.29%
未回答	671	23.64%

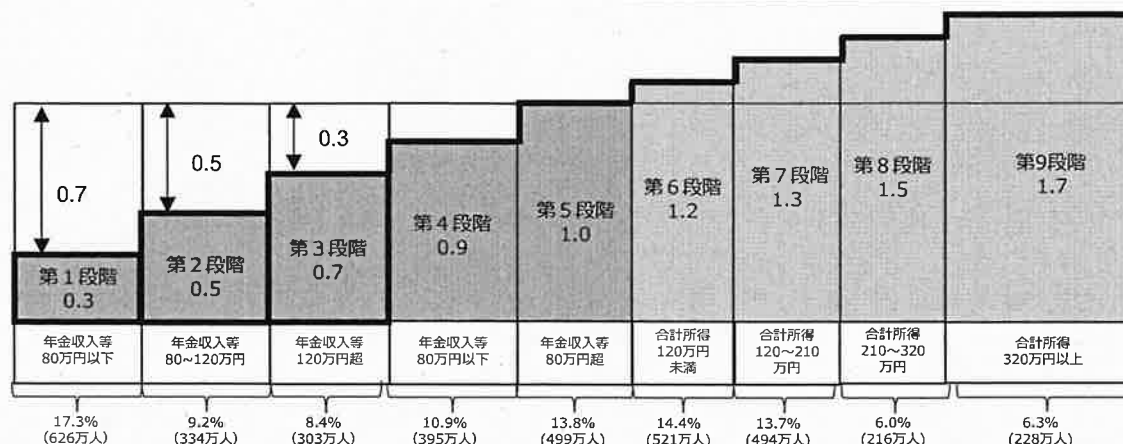
2,839

介護保険部会での議論を踏まえた見直しの例

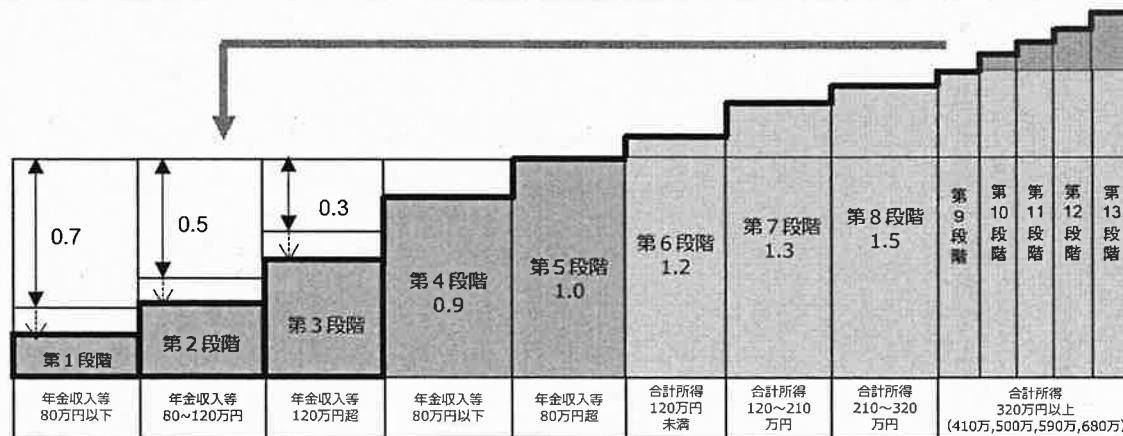
令和5年7月31日
全国介護保険担当課長会議・参考資料9

- 1号保険料の見直しについて、具体的な段階数、乗率、低所得者軽減に充当されている公費と保険料の多段階化の役割分担については、今後の介護保険部会等の議論を踏まえつつ年末までに結論を得るとされている。
- 7月10日の介護保険部会における自治体のご意見を踏まえ、保険者の第9期計画期間の保険料の検討等に資する観点から、介護保険部会での議論や既に多段階化を行っている保険者の実態を踏まえつつ、制度内の所得再分配機能を強化し、低所得者の保険料上昇を抑制する観点から、現段階で考えられる見直しの例を示すもの。

<現行制度>



<見直し例>



第1段階～第3段階の乗率の例

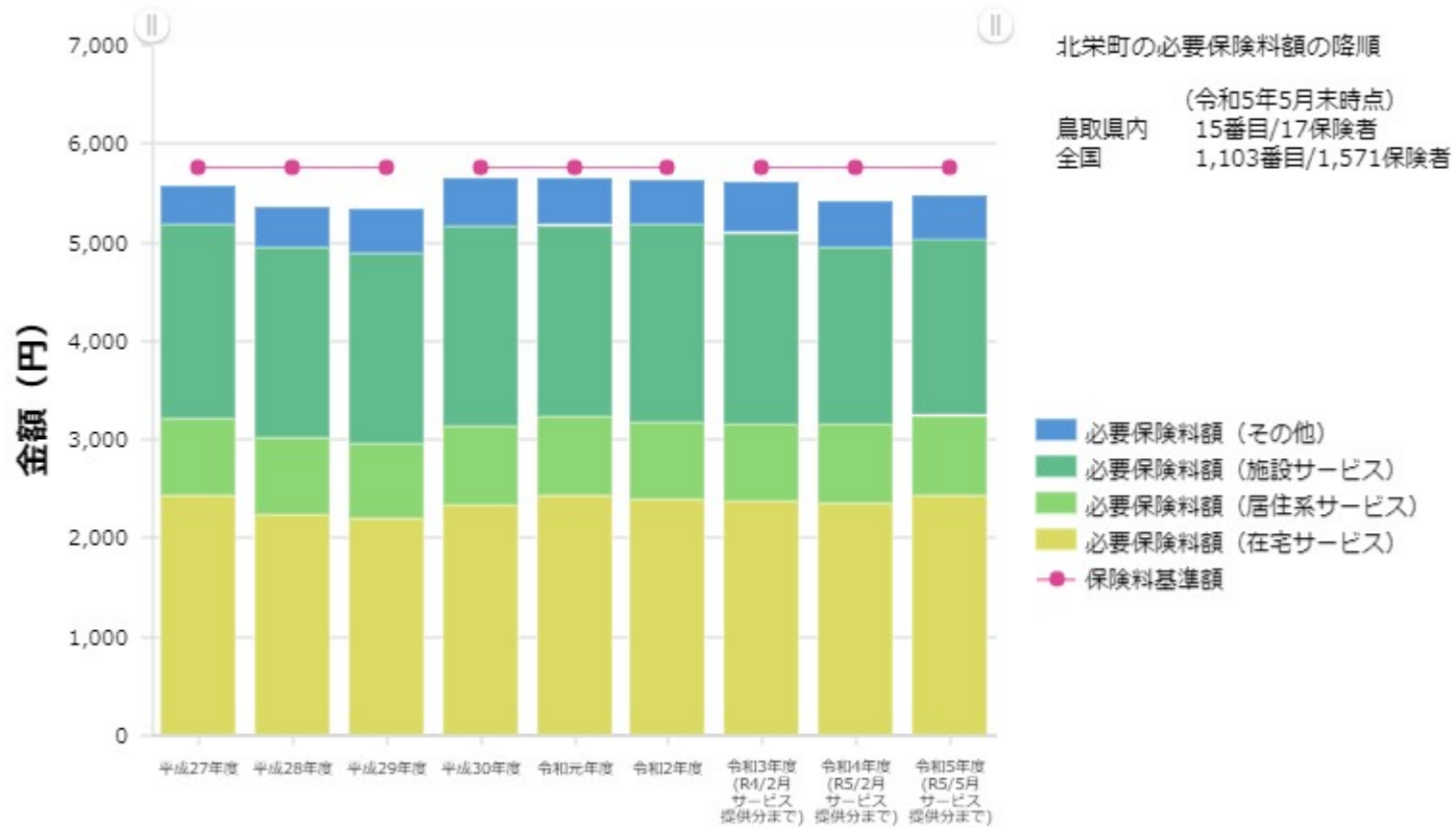
①	0.26	0.47	0.68
②	0.275	0.48	0.685
③	0.29	0.485	0.69



第9段階以上の乗率の例

A	1.7	1.8	1.9	2.0	2.1
B	1.7	1.9	2.1	2.3	2.4
C	1.7	1.9	2.1	2.3	2.6

北栄町の保険料額の推移



(出典) 【必要保険料額】平成27年度から令和2年度：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」、令和3年度から令和4年度：「介護保険事業状況報告（月報）」の1・2か月累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値、令和5年度：直近月までの「介護保険事業状況報告（月報）」の累計および介護保険事業計画に係る保険者からの報告値
【保険料基準額】介護保険事業計画に係る保険者からの報告値